

連結決算は増収増益！社員に還元せよ！

大惨事を教訓に責任追及の労務管理を是正せよ！安全を損なう社員運用を中止せよ！

「平成17年3月期決算」経営懇談会

本部は、4月28日に「平成17年3月期連結決算」経営懇談会を開催しました。平成17年連結決算営業収益は、前期比254億円増加の1兆4,094億円となりました。また、経常利益は前期比113億円増加の1,423億円となり、当期純利益は前期比238億円増加の960億円となりました。以上のように平成17年3月期連結決算は過去最大の営業収益・経常利益・当期純利益となりました。

会社の説明を受けて、伊藤委員長が以下のとおり主張しました。

「過去最大の増収増益は社員の日夜にわたる努力の結果である。妥結はしたがベアは4年連続ゼロ、夏季手当にわずかな上乗せがあったにしても不十分である」「JR西日本の事故をわがものとして乗務員に対する過剰なプレッシャーはやめるべきである」と強く主張し以下の点について誠意ある回答を求めました。

株主配当は増配となるにもかかわらず、ベアゼロ、夏季手当のわずかな上乗せでは社員の努力に答えていない。他の方法で社員に還元すべきである。

JR西日本の事故について、社長は会見で「必要ならば安全に関する設備の改善を行なう」と述べている。ハード面では早急にATSの新型を全ての線区に導入するなど安全に関する設備改善を前倒して実施すること。

JR西日本の大惨事に対し同じJRに働く者としてわれわれは心を痛めている。この大惨事の根本原因は責任追及の企業体質にあると認識している。JR東海もJR西日本と同じように些細な事象をもって日勤、配転、処分、賃カツなど乗務員に対して過剰なプレッシャーをかけている。他山の石として対応を改めることを要求する。

本人の意志、希望を尊重しない社員運用は安全上問題がある。やりたくない運転士を人事運用でやらせたら安全が損なわれることははっきりしている。運転士になりたくない社員を運転士にさせる社員運用を中止すること。

これに対する勤労課長などの会社回答は次の通りです。

ベア、夏季手当は経営状況、先行き見通し等を考えると精一杯の回答である。

JR西日本の事故については、社長も記者会見で述べているように会社として同じ鉄道業者として真摯に受けとめる。これまでも安全第一で取り組んできた。これからもハード、ソフト両面から改善すべきものは改善し安全第一に取り組む。

事故発生時には当然、日勤教育など再発防止に取り組む。乗務員には過剰なプレッシャーはかけていないとの認識であり、これまでどおりである。
今回の社員運用はわが社の将来の屋台骨を支える重要な施策である。やりたいとか、やりたくないとかではなく仕事であり、会社の指示した労務をやってもらう。やりたい意欲をいかに持ってもらうか会社として責任持って進める。

以上の会社回答に対して以下の議論を行ないました。

組合：資料によると人件費が減少となっているが大量退職以外に何かあるのか。

会社：退職者の増加と、社員数の減少等によるものである。

組合：長期債務についての状況はどのようになっているのか。

会社：キャッシュ・フローを増やす努力をしている。

組合：安全に対する設備投資、要員が十分なのか疑問である。特に保守、点検作業に従事する社員が年々削減されている。

会社：安全・安定輸送は最優先に考えている。機械化、省力化にともない要員は減ってはいるが検査関係などの要員については減らしていない。

組合：JR東海で事故が発生した場合どのような保険のシステムになっているのか。

会社：在来線については「在来線賠償責任保険」にJR6社で加入している。保険金は100億円である。新幹線も「新幹線賠償責任保険」にJR4社で加入し、保険金は300億円である。その他に「土木構造物保険」にも加入している。

組合：新幹線におけるJR西日本の車両のメンテナンスについて部品がないなどJR西日本を指導すべきである。

会社：定期的にJR西日本と協議している。問題があればその都度あげている。

組合：役員の数、賞与、報酬について明らかにせよ。

会社：役員数は、23名である。報酬は7億2900万円であり、賞与については株主総会で決議されるが2億8400万円である。

昇進試験と切り離れた社員運用は安全を損なう！

いま運転士の「若返り」と世間に宣伝できるのか！

組合：会社はいくつものハードルがあるから問題ないと言うが、4月から実施されている社員運用について特に運転士に関しては昇進試験がなくなりハードルが低くなる。安全上問題がある。

会社：運転士になるためには国家試験など様々なハードルをクリアしなければならず安全上問題はない。それは認識の違いである。あくまでも安全上問題がないように教育などを実施していく。

組合：先に読売新聞に報道されたようにJR東海の運転士の若返りとの記事を今の段階でも、世間に堂々と出せるとの認識か。

会社：若返りとはマスコミが書いたことである。会社としての理念は変わらない。

その他、福知山線の事故について経営協議会の開催を早急に開くように求めました。最高の決算を社員に還元することはさらに機会あるごとに要求します。社員運用の変更反対の団交を早急に開くよう申し入れています。

以上